第六百八十九號（一）　明治四十四年五月廿九日（月曜日）　月曜及祭日之翌日休刊（日刊）（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢 ▲郵稅一ヶ月十五錢
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓 ▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休刊（日刊）
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久[illegible]一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大六三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

鐵道協會歡迎號

漫筆 風行錄（一）

天人兒

●京新子足下。予覺蠢に足下の屢々筆禍ひ違へるを哀しむ者、今茲復足下の健筆に接するに及んで、何ぞ衷心の欣欣を致さゞらんや。

●大觀すれば、天地の物象既に夏景に入り、人或なは重荅の舊衣を脱して、輕捷の新衣に更ゆ。蓋し汪毅が所謂『祝融南來鞭火龍、火旗焰焰燒天紅』の噗、是より漸く多からんとする也。

●此時に方り、予豈敢て新版圖の治政に就て言ふことを息め、卻て姑らく心冷の工夫を講じて、小は則ち個個人人大は則ち天下の苦熱を掃はんことを欲す。

●然りと雖、予の如き猶ほ固と自ら筆政の士を以て任す、時に評衆の餘筆走り、政事、世事に渉ることなきを保せず。

●愛著。夏篇の觀を爲すものあり、之が第一に曰く、正位。明窓に面し、淨机を設けて、敬邪を得ること勿れ。第二に曰く、整容。兀然として端坐し、息を臍下に收め、肩背を竦直ならしめて、腹と鼻莖とを齊うす、第三に曰く朗讀。舌溢らず、口吟せず、字分句明琅琅として金石より出づるが如くす。

◎故人鹽谷宕陰、之を評して曰く「斯の如くせば則ち神定まり、氣收まり、虚室白を生じ、至靜熱に勝へ、以て夏日を銷すに於て宜し」と。蓋し予が所謂心冷の工夫と相襲し矣。

◎而して夫の老子、所謂淸淨、莊子の逍遙、王陽明の靜坐。扨ては、禪に『離知離解を放捨し、一切の妄情を斷絶し、一實の眞心を現成せば、迷雲收まり、心月新たに明かならん』と說き、寶茶翁が『心頭を無事にすれば情自ら寂に、事上に無心なれば境器て如けり、吾樽荷も斯意を體するを得ば、廓落たる胸襟大虚に同じ』と歌へるもの、其本義に於て竟に差ふことある莫し。

◎心冷の工夫、謹で之を新伯爵寺內正毅氏以下の半島政治に熱心なる總督府員諸公に獻じ、併せて騷閙の爭炎に沒頭せる民團議員諸君、怖るべき火坑に墮落せる醫師、宗敎家、敎育者諸子に呈す、請ふ其胸懷に對つて一殊の凉を致し得ば幸也。

雜報

●釀造所の葡萄栽培

度支部釀造所にては一昨年群島模範場より葡萄の原料を得て白葡萄酒製造中なりしが昨今好成績を見たるより更に今回構內及付近の耕地に佛國より苗木を輸入し六千本を栽培したるが明年頃よりは更に此栽培したる葡萄苗木を一般に配付する計畫ありとの事なり

●東拓の直營農場

島に設置したる直營農場は主として果樹の栽培及苗木の養成を目的とし傍ら間作として蔬菜の栽培を爲せるものにして昨春栽植したる果樹は葡萄苹果梨にして其數二万五千二百間作蔬菜も本年度中千八百餘圓の收入を擧げ其成績良好前途倍々有望なるを以て昨年八月更に二十町步を擴張して全面積を三十五町步とし今春更に果樹二萬六千八百本を植栽し尙ほ間作しつゝあり

●龍山軍人分會發會

龍山に於ける在鄕軍人分會 發會式は彌來六月四日の日曜日午後一時より擧行する事となり昨今專ら其準備中なるが會場は未決定なれども若し雨天ならば第六十五聯隊雨天練兵場を用ゐる事に內定せりと而して同地の會員は昨日までの取調べによれば准士官以上將校三十三、下士卒二百九十五合計三百二十八名なりと定めて盛大の事なるべし

外事一束

▲佛國 首相モニー氏の飛行機椿事の重傷は危險の境を脱し囘復に向へり。

▲罷業 英國水夫同盟罷業は既に十三萬五千人の同盟成り滊船出帆困難也。

▲墨亂 墨西哥叛軍首領マデロは日本人支那人の叛軍に虐殺されしを憂ふ。

▲之れ 日本及び歐洲諸國が干渉をなし自己の勢力の減失せん事を恐る也。

▲佛國 軍隊は摩都陷落の虚報に勢を得て進軍無事に包圍中のフエフを救。

▲巴里 の一ドクトル結核治療の一新法を發見し其効驗著大なりとの報有。

▲抗議 露國は土耳古政府にモンテネグロ國境集兵は平和を害すと抗議す。

▲成功 飛行家ベドラン氏は巴里マドリツト間飛行競爭に於て四時四十五分間に二百十九哩を飛行しサンセバスチャンに到着大々成功と云可し。

▲世界 第一の圖書館紐育に開館さる規模宏壯優に三百五十萬冊を容ると。

▲溯江 我軍艦宇治廣東發梧州迄溯航の際西江旭旗の飜へる之を嚆矢とす。

◎新刊紹介

▲家庭のをしへ（第一卷一號） 小さい薄い美しい雜誌なるも他の雜誌の如く無用な記事少しもなく全誌悉く有用有益の文字を以て充され虚榮浮華、外觀を街はざるは蓋し本誌の特色ならんか載せる記事は重要なるもの芳賀文學博士の「詞づかひ」加藤咄堂氏の「烏丸光廣卿の婦女訓」井上圓了博士の「臺灣土人の忠孝」釋宗演師の「佛敎徒家庭の信仰」等なり（東京市神田區お茶の水通り光融館一冊四錢五厘）

▲精神修養（五月號） 精神修養に志す人士宗敎上懷疑の念ある人は必ず本誌を讀むべし資する所多く且つ轉迷開悟の機に達すべし本號中重要なるものは加藤咄堂氏の「文天祥正氣の歌」谷本博士の「修善とは何ぞや」內藤鳴雪氏の「俳人の見たる動物」棚橋女史の「佛道の敎ゆる修養」此他貧民救濟問題生活の價値等訓養的記事と趣味ある讀物とを以て全誌面を埋めたり（東京市淺草區橋場町精神修養社）

△少年（六月號） 川村淸雄畫伯の牡丹の口繪目のさむるばかりの美しさ記事は何れを讀んでも少年の有益なるものばかりにて其に面白い揷畫澤山あり少年に讀ましむべく家庭に是非一卷備へて置くべき雜誌なり（一冊十錢東京市京橋區南鍋町時事新報社）

△東京經濟雜誌（千五百九十五號） 工藤重義氏の「土地增價稅の二大流派」社說「金融及有價證券市況」山本唯三郎氏の「淸國の四國借款と幣制改革」家內工業の前途（大隈伯爵）等本誌の重要論說あり（東京市京橋區彌左衛門町經濟雜誌社一冊十二錢）

召使れ初 第六十一回

墨法師

他人の德兵衛すら斯の如し、況して肉身の父の佐五衛門はれ初立身の事を聞いて雀躍するばかりに歡びぬ、れ力は心祝ひの赤飯、一合の酒は氷川明神へ供へ奉る心をもて、膳の上に熱燗の香り深かりき。

「れ館からの手紙にも、御館れ金子もれ貢ぎ、御不自由もさせましければ、父上へは御好物の御酒さし上げ給はるやう、くれ〴〵も認めでござりましたが、三年振のれ盃、早や此味もれ忘れでござりませうな」

「いや、忘れぬ、自分の年齡は忘れても酒の味は忘れぬ、れ初からうのやうに申して來たが」

「持つべきものは娘、女の身に三十石の御知行、若年寄れ役は、れ表の御用人も同じ事、思ひ掛けぬ出世を見たでござります」

「これも氷川明神御利益、信心を怠つてはならぬ」

「れ神酒のれ下り、一つれ喫りなされませ」

「れ初孝行の餘澤、さぞ甘からう、嬉しく飮く」

れ力はすり寄りて、心の香りを酌しつゝ。

「れ初出世を悦ぶにつけて、佐十郎は什麼と致したでござりませう、先年から放心の體子でござりましたが近頃はまた家を外に遊び歩くでござります」

とさも鄙しげに云ひ出る

「彼の事を申すな、彼奴人間の中ではない」

「とはござりませうが、佐十郎とて五本の指の一本でござります、一本の指が痛いとて、切つて捨てる事のならぬ限り、人間らしう爲て遣りたうござります」

「根が腐れては花も咲かぬ、彼の心は全く腐つた」と云ふ中に盃を傾けつ「まこと甘露、好い味ぢや」

「れ初孝心の飾りもござります、懷しうれ召し喫りあらせませ」

佐五右衛門は一合の酒に舌鼓打ちて世にありし時の一斗にも價すべき味なりき、秋も何時しか老ひ、庭の楓も名殘なく散りて、寒菊の花、蕭疎たる垣の下に亂れ咲く、れ初奉公に出でたる後は、夜も日も淋しく、來り訪ふ者もなくて、軒に雀の何時に變らぬ愛らしきを友とするのみ。

「れ頼み申す〳〵」

蜘蛛の巣も張るべき玄關に、珍らしく人の訪ふ聲頻りなり、佐五右衛門は耳を欹てゝ。

「誰か來たやうぢや、佐十郎でないかの」

「佐十郎が大聲上げて、案內を乞ふ筈もござりませぬ」とれ力は不審の眉を顰めながら、次の間からさし覗き「れゝ德兵衛どの……德兵衛殿でござります」

「德兵衛どのか、好い處へ來られた、さ此方へ——」と膏盤の膳を片付くる德兵衛はのそ〳〵と昇り來て。

「旦那様まづ御健祥、絕えて久しう御意を得ませぬ」

「その挨拶此方からする筈、以後は存外の不沙汰、さぞ御立腹もあらうが御存じの忿情讀、外出がとんと嫌ひで思ひながら失禮、平に恕させられ」

「何はさて、申し上げたいはれ初様御出世、此方へもれ知らせでござりませうな」

「これと申すもその許れ蔭、禮は詞に盡くされぬ」

「私よりは御當人様眞心が、天へ通じたのでござります。御機見の國尾様もれ便りのあるごとに、れ初様の事云はせられて、殊の外御歡び御世話致した私まで鼻が高いのでござります」

一座笑ひ聲、歡び聲に交りて、小さき茅屋、宛らに動くが如し。

北滿洲の平穩

(東京通信)(廿八日)

北滿洲各地に於て馬賊蜂起し居留邦人は危險の狀態に陷りしが其後當局者に於て特に警戒を嚴にし邦人の保護に盡力したる爲め目下各地とも平穩に歸したりと

吉林火災と馬賊

(奉天通信)

吉林市の過半火災の爲め燒失し居住民の生活に窮する者多數を出せるが此等の慘憺たる狀況に付込み白晝馬賊横行し財貨を掠奪するものありとて[illegible]巡警を以て警戒し奉天總督に對し巡警の增遣を要求したり

露國名士三國觀

(露都電報)

露國下院議員グチコフ氏より露都の某所に達したる電報によれば同氏は日露兩國[illegible]對抗すべき準備に努力しつゝあり十年後の淸國は東洋に於ける一大强國たると共に我國の衝突は免るべからず云々

墨國と日淸交渉

(日淸通信)

墨國公使は[illegible]に於ける日淸人殺害事件に關し墨國政府に抗議の通牒を發したるも國內の狀態は未だ靜穩に歸せず交渉を開始する能はず

通貨流通高

大藏省の調査に係る去月末通貨流通高は金貨[illegible]圓八錢[illegible]助貨一億[illegible]兌換銀行券三億[illegible]にして之を前月に比すれば總計に於て二千三百四十一萬五千七百六圓八十五錢を減ぜり

小取引所存廢問題

京城取引所禁止に關し斷行されたる結果地方の小取引所に對する存廢問題は[illegible]自然消滅に陷るもの[illegible]其の不幸を免れざるもの多少あるべし

海軍重要會議

二十七日宮中に於て[illegible]伊東元帥、井上、齋藤海相、山本の各大將[illegible]海軍に關する重要事件に關し協議[illegible]

雜報

鐵道協會大會

鐵道協會は豫定の如く二十八日午前[illegible]大會を開催せり[illegible]中の事務報告を爲し[illegible]を紹介す夫より[illegible]の意味の挨拶あり[illegible]後任として本會々長[illegible]たるは洵に光榮の[illegible]に御承知の如く身多[illegible]お固く辭退せし次第[illegible]勸告もあり茲に就[illegible]就て不肖の身を以[illegible]だ一に會員諸君の御[illegible]を捧げんのみ而して[illegible]協力を希望して[illegible]て茲に一言申添ゆべ[illegible]に非ず諸君の此機會[illegible]御視察をなさるに就[illegible]對し充分御便宜を供[illegible]り何卒此旨御承知[illegible]ありて[illegible]郎氏の朝鮮所感原口[illegible]就て其他大屋長官の[illegible]講演あり後役員會を[illegible]の選擧を行ひ評議員[illegible]に原六郎氏を推擧し[illegible]を推擧せり[illegible]次郎、牛場卓造、古[illegible]太郎、仙石貢、井上[illegible]郎、岡師民嘉、米[illegible]休憩の上懇親會に於[illegible]

鐵道協會懇親會

[illegible]及び來賓一同に[illegible]移り食堂開始と共に[illegible]挨に次で瀨重孺子の[illegible]伯の發聲にて天皇[illegible]來賓總代の發聲にて[illegible]を三唱し續いて各種[illegible]擬店開かれ各々歡樂[illegible]時半閉會を告げたる[illegible]して怡はしめしものは[illegible]はれたる道觀某使が[illegible]令役唱吏房執事郡守[illegible]其身は輿に乘りて揚[illegible]擬せる古代行列、拋[illegible]生舞、朝鮮演劇節婦[illegible]に當日は場內に郵便[illegible]刷して來會者に頒て[illegible]來會者のために記念[illegible]る等其他諸般の設備[illegible]滿足せしめたり

朝鮮所感

井上角五郎氏演說

[illegible]會の席上に於て井[illegible]說要旨左の如し

今昔の感

京城は予に於て[illegible]すれば予が在任せし[illegible]在時にして當時在留[illegible]十餘名の官民と一大[illegible]麗下に駐屯せしのみ[illegible]五萬有餘の同胞を算[illegible]る盛會の下に鐵道協[illegible]且つ當時の王城とし[illegible]られたる此勸政殿に[illegible]殿を逝ふるを得るは實に今昔の感に堪へざるものあり

▲何をか進歩

聞く朝鮮全道に亘たりて之を算すれば在留同胞正さに十七八万と稱せらる然れども予を以て之れを視れば其數斯くの如く增加せるのみにて何等特殊の現象を認めず一方朝鮮人は見るも之を當時に比すれば到處の山林既に悉く伐盡せられ又昔の比較的柔順なりし人民なりしが現今は甚しく狡智に流れ毫も進歩せる跡を見ざるは頗る遺憾とする處なり

▲一個の要求

思ふに滔々たる在留同胞を見るに三種の別あり則ち一は遠く三十餘年前より在留せるもの二は活潑銳敏にして碌々內地に安んじ能はざる冒險的幽民三は相當の學業を修めたるも就職難の結果茲に志せるもの等なり要するに以上の人々は一種の不平により渡來せるものたるや疑なし然るに總督政治の現狀を見る時は是等內地人に對する處置其當を得ざるもの多々あるやに觀せらる又朝鮮人に見るも合併の結果必ず何等かの進歩を來すべく期待し居るが如し則ち日鮮人共に合併の爲めにヨリ以上の利益を求めつゝあるは明々白々の事實なれば[illegible]任に爲政の局に當るものは[illegible]活機妙用を施し充分なる活動を許されん事を切望す

▲鮮人の同化

元來朝鮮人は同化し易き民族なり現に漢城高等女學校を參觀せしに孰れも能く日語を操つり而かも既に若干の女教師あるさへ見たり斯くて日語の普及漸次其緒に就かんとせるは頗ぶる是れ同化の有望なるを示めせる例證にして寔に愉快に感ずる處なり又同化の目的を達する捷徑の方法としては兩者の通婚を奬勵するも亦妙なるべし概して朝鮮には美人多く朝鮮婦人の艶麗なるかに驚くべし而して彼の明月館等に赴き見よ如何に夫れて是等美人を妻とするは寧ろ喜むで吾が內地人の臨する處たるや疑なけん又內地におけるハイカラ女學生の如きも徒らに醜聲を內地に放たんよりは朝鮮人の妻となり斯くて相互の通婚盛んに行はるゝ時は同化は一層速かなるべきを確信す

▲賃金を低減せよ

更に又大屋長官の講演せられたる處によれば朝鮮鐵道の計劃も漸次進行し其發達正さに遠からざるを確信す然れども今日の要務は貨客運賃の減低より急なるはなし思ふに此點に於ては必ず相當の成算あるべきを信ずるも更に大に研究して一日も速かに實行せられん事を希望して已まざる處なり

▲予は斯く信ず

何は二[illegible]

[illegible]來要すべき朝鮮補充費に千二百萬圓を以て充分なりと明言せり之を聞ける或る者は朝鮮併合の意外に安價なるを喜びつゝありし程なり然るに今茲に實地其土地を踏査するに及むで港灣鐵道其他施設を要すべき事業少からざるを見ぬ故に當時桂首相の言明せし補充費は則ち朝鮮內地の經營を除ける內地人在留地のみに關するものなるを信じ否寧かく信ぜざるを得ず云々 (十七議會の豫算會議に於て桂首相は特に)

平元鐵道速成意見

平壤、山鎭南浦三ケ所在住民の熱望して已まざる平元鐵道速成建議に對する意見書中交通運輸に關するものゝ左の如し

抑も朝鮮に於ける元山及鎭南浦の關係は輿地圖の明示するが如く朝鮮半島の西北部を扼する要鎭にして而も幅員最狹距離になる二大港灣なり即ち元山は日本海に面する唯一の良港にして鎭南浦は淸國大陸を控ゆる渤海及び從來北海道又は北陸山陰地方より滿洲若くは天津方面に來往する旅客貨物は總て朝鮮半島を迂回して數日を費さゞれば到達することを能はず斯る交通不便の結果我日本海沿岸各港の當然發展すべき利權も是が爲めに往々其進路を阻害せらるゝこと少しとせず且咸鏡道沿海は豐富なる水產物を有し現今幼稚なる漁法を以てして尙且夫の明太魚の如きは其收獲時に數百萬圓に上るとあり又陸地は廣大なる地域を有し農產物の如きも年々發展の狀況を呈す而して至る所各種鑛物を包容せられ遂利極めて多きに拘らず母國民の同方面に移住就業するもの比較的僅少なるは全く交通不便の致す所にして若し一度平元鐵道完成せば平壤に於て京義線並に鎭南浦線に連絡し陸路は滿洲に通ずべく海路は大連營口天津上海の航路に接續すべく更に裏日本と滿洲とを聯絡せしむる點に於て最も短縮せる距離を現出し彼の釜山を經て滿洲に通ずる幹線に比し殆ど百數十哩の短縮を見るべく其運搬日數と費用とに於て莫大なる低減を來すは必至の勢なり殊に裏朝鮮の特產たる海用物を好販路なる表朝鮮に輸送し同時に西朝鮮の特產なる農產物を其唯一の需用者たる裏朝鮮に運搬するに於ては互の經濟狀態に及ぼす影響實に測り可らざる者あるべし是れ交通機關の速成を熱望する第一の理由也

鐵道と朝鮮

鐵道院に於ては東京下關間を從來二急行列車を運轉したるが今回は神戶東京間の一往復急行列車を下關まで延長し三回往復急行列車を運轉すべしと目下調査中なるが姬路岡山間は複線工事に着手し來る八月頃には竣工する豫定にて三往復急行實施と同時に時間の變更を行はざるべからざれば右實施までには二ケ月間を要すべく即ち八月頃より運轉を開始し東京下關間毎日三急行列車を運轉せしむる計劃なり而して右實施と共に神戶停車場停車時間を短縮し其他諸驛の停留時間も短縮し從來東京下關間廿五時間を要せしを一、二時間短縮し得べく旅客に多大の便利を與ふべく此の際には朝鮮の鐵道にも自ら改善的施設を見るべく先づ第一着に隔日の夜行は毎日に改めらるべしと云ふ

鮮鐵運賃問題

…當局者冷淡を極む…

全國商業會議所聯合會より總督府に建議せる朝鮮鐵道運賃低減の件は半島の開發上最も急要の事柄たるにも拘はらず當局者の意向は案外冷淡を極めつゝあり聞く處によれば現在にても收支相償ふ能はざるに尙ほ此以上の低減を强迫するは經營の眞相を解せざる妄論なりと而して斯かる事情に暗昧なる妄論は毫も耳を傾くるに及ばずと稱し居る由なれば該決議は當分之を徹底し能はざるべしと云ふ

▲人さま〲▼(四十一)

今村鞆君

境遇は自から人の風格を作るものと見ゆる、現に永い間肋骨服に包まれて居ると、所謂警察型なるものが出來て、一寸人を呼ぶのにもオイコラなんかて頗る横柄を極むるが常だ、處が南部署長今村警視に限つて微塵此弊が無い、君は愛媛縣の人で警視廳警部から叩き上げ後岐阜縣に轉じて保安課長となり、間もなく海津郡長に榮進したが然る內韓國政府に招聘され引續き今日に及んだのである、此間松井茂君を補けて朝鮮の風俗習慣を調査し、何とか一班と題する書を公にした事がある、君の道樂は社會研究で其又研究した事を書いて之を雜誌杯に寄稿するのが唯一の趣味、而して洒々落々一寸ども四角張らない處、何つちか言へば珍しい方である。

關釜貨物の停滯

近く何等かの開展を見ん

關釜間の連絡は義勇艦隊船を之に充當せしより同船は其搭載貨物積載に適當せざる爲め自然連絡貨物に停滯を來たし一般商民の迷惑此上もなき狀態に在り依て過般全國商業會議所聯合會終了後當地商業會議所より其筋へ交渉を遂ぐる處ありしが當局に於ても疾くに何等かの設備を爲さゞれば到底救濟の途なきを認めつゝある折柄とて直ちに其希望を諒し追て鐵道院に向つて連絡船の增加を計るか又は艦船の變更を爲すか二者其一を取扱ふ事となれりと

內地人の農業

最近の調査によれば朝鮮各道に亘たる內地人に經營せる農業は經營者六百九十二名にして之を內譯すれば五千圓以上の投資者七十二名此金額四十九万六千百九十六圓、一萬圓以上の投資者六十四名此金額百九十萬四千五百五十圓、五萬圓以上の投資者二十二名此金額百三十八萬九千三百八十六圓、十万圓以上の投資者十八名此金額三百五十七万三千六十七圓外五千圓以下五百十六名此金額四百三十三萬二千七百四十三圓を示めせり

各會議所現勢

在朝鮮內地人商業會議所數は十ケ所なるが其現勢は左の如し

	會員數	議員	經費
京城	七一四	二四	一二、一一一
仁川	四三二	二四	六、七四九
釜山	三三二	二〇	八、二九九
元山	三三二	一八	七、五九〇
鎭南浦	一六三	一八	二、七六三
木浦	一六三	一二	六、八三一
群山	一七四	一二	三、九五九
大邱	二四五	一二	二、七三六
馬山	二〇一	二〇	一、一七二
淸津	二二八	一二	三、五七〇

阿片吸食取締

(北朝)

鮮人若くは淸國接續地方の朝鮮人中には阿片吸食者尠からず故に之が取締は最も急要の一事項なれば總督府當局者は過日之に關する制令案を立て法制局へ回付せし由なるが種々不備の點多く同局の審查決定を得る能はざるより更に立案中なりと

古社寺の保護

(總督)

總督府は半島の古社寺保護の目的を以て寺刹令を立案せしも愚民の誤解を虞れ今尙ほ之が發布を躊躇し居れり然れども同令の內容は洵に單純のものにして朝鮮に現在する古美術の保存を計り且つ寺廟の財產を安全に保護せん爲めに外ならずといふ

各道授產計劃(二)

忠淸北道

▲施設事業 は共同事業部別事業の二とし之を種別すれば左の如し

授產場の設立、教育の施設若くは補助、普通農事、養雞、實業及共同の力を以て各般の設備又は巡回教師を招聘する事

▲授產場の計畫 授產場に要する經費は四十三年度及四十四年度利子三萬五千七百三十圓を以て之に充て其內部別事業に一萬壹千三百餘圓又共同事業に一万九千餘圓を投じ四十四年度以降は二萬三千八百廿圓を以て經營す

▲教育の施設補助 教育に關する施設費は一萬二千三百五十二圓餘を豫算し普通學校の增設を計るべし又假設若くは新設の私立校にして相當と認むべきものに五千六百十二圓餘を補助して現年度豫算額は一萬七千八百六十五圓を計上し四十五年度以降は一万一千九百十圓を以て其計畫を進行す

▲蠶業の施設 蠶業に關する施設は共同飼育所に一千三百餘圓を桑苗及蠶具の購入に二千八百餘圓を共同製繭所の設備及成繭の共同販賣事業に九百四十圓を計上せり

▲共同的事業 として三千九百餘圓を以て機織臺を新調し普ねく各面に貸付し巡回教師を聘して之を指導し此經費約二千三百餘圓を計上せり又養蠶講話傳習の爲め三千二百餘圓を豫算し其他千餘圓を以て甘藷圃園を設けられ或は秋蠶共同飼育所を設け其經費千七百餘圓を算せり更に機業の巡回教師費三千五百餘圓及機業講習費二千百餘圓を計上し在り

在鄉軍人會組織準備

(京城)

在鄉軍人會組織に付ては既報の如く數次協議を重ねたるが大体の方針はきまれく決定せしを以て來六月四日午前より在鄉將校重立者の出席を乞ひ憲兵司令部に於て發會式に關する協議會を開く筈なり倘ほ廿六日までの調査によれば在鄉將校は九十餘名なりと

保安令の行惱

現行保安法は內地人に關する規則は統監府に於て發布せるものを又朝鮮人に律すべきものは舊韓國政府所定の法律を繼承し居るが併合後の今日二樣の法律の適用法を有するは不便甚しきを以て此際之が廢止を爲し別に之に代るべき適當の制令を立案し既に法制局の審查を經たる由然れども斯く兩者に亘たる性質のものは單に同令のみならず他に幾多の法令存在せるあり故に是等撞着せる法令は總べて統一せざるべからざるを以て同令の發布も自然見合せ居れりと

道長官の下仁

檜垣京畿道長官は廿七日喬桐視察を終へ同午前五時仁川着府廳及警察署等に立寄りし上水津旅館に一泊し二十八日午前六時五分仁川發列車にて出發朱安製塩所を視察の上富平を經て歸京せり

總督府醫院抄讀會

總督府醫院に於ては毎月一回地方開業醫諸氏と相會合し醫學を研讀し尙每週木曜日午後四時より醫術新刊書籍並に雜誌の抄讀會を開き各科長指導の下に醫員以下の新智識を涵養し來りたるが今回森安博士の首唱に基き千葉昌胤氏を聘し每週金曜日午後四時より[illegible]會の講義を聽聞し精神修養の資に供せんとし院長以下職員一般隨意出席の由其他每日執務終り點燈時に至る一時間內外を以て森安博士以下少壯の學士連相競ふてテニス大弓等体力養成を努め毎日の歸宅は殆んど日沒になりき智德体三育並行の企圖せる催流石に藤田院長の指導至れりと云ふべし因に每週抄讀會には市內開業醫中參加せる向もあり亦大に參加せんことを歡迎しをれりと

東拓小作米の賣却

東拓會社が本年三月末の決算期に於て貯藏したる小作物品に籾八萬九千八百二十八石五斗一升二合太豆千九百三十九石三斗一升九合粟四百五十五石五斗五升九合黍二十八石一斗六升七合其他等あるが籾は一石五圓に見積りこれを秋期に繰越したるが總額籾を合せて四十六萬五千五百十七圓〇三錢なりしが其後頻りに賣却の上現時に於ては約其八割方を賣捌きたる由にて馬山方面に於ては一石六圓八九十錢乃至七圓は某方面にては五圓二十錢見當なりし由にて取引の最も大なるものは鎭南浦の新井某氏と二萬餘石十三萬圓餘なりしと云ふ

郵便所新設置

來六月一日より左記郵便所を設置し同時に從來の郵遞所は廢止の事となれり

果川郵便所 京畿道果川郡
竹山郵便所 京畿道竹山郡
魯城郵便所 忠淸南道魯城郡
舒川郵便所 忠淸南道舒川郡
泰安郵便所 忠淸南道泰安郡

▲京龍南驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 廿七日の分
乘車客 六五五六 下車客 九二一一
乘車賃金 一、六八五、〇八

▲南大門驛荷扱 廿七日の分
發送四六噸 到着四八八噸
貨物賃金 七九四、六九

▲龍山驛乘降客 廿七日の分
乘車客 一六二 下車客 一五七
乘車賃金 一五一、二八

▲龍山驛荷扱高 廿七日の分
發送 二噸 到着 一一八噸
貨物賃金 二一、二四

▲茶袋▼

獨逸が經營して居る山東鐵道に乘ると、淮南驛の驛頭に斯ふいふ文字が掲げてある、曰く如矢如砥鋼齊魯▲韓銀の太田局長之を觀て來て漢車を形容した文句に此以上のものは無いとて、頻りと獨逸の遣り方に隨喜の涙を零して居る▲鐵道協會の大軍が乘り込むで來たので、京龍の旅館は上へ下への大混雜▲處で二三日前から來て居る客は立退きを條件として泊まつ居た爲め一昨日限り引拂はねばならぬ、然るに彼の通りの大雨に降り罩められたので、更に一層の大混雜、頗だ愁嘆場を演じて居るものも其處にも此處にもであつた▲京城民團ではドシ〲滯納處分を勵行して居るが、例の海浦式である爲め頗る猛烈である▲ソコで明日は三本筋の大頭株に寬かつて一泡吹かして見せるうだ▲永い間容易に決まらなかつた、龍山側商業會議所議員は執行猪三郎君と渡邊與三郎君とが、乃公出でずんば何とかを如何せんと歟。

大同江の浚渫

浚渫工事に就いては目下度支部に於て[illegible]同工事に關する一切の設計中にて其[illegible]れば愈々近日中に浚渫工事に着手すべしと云ふ

[illegible]高等女學校にては二十八日午前八時より[illegible]官驗、暗誦、朗讀、裁縫、英語對話[illegible]他商會議員等にて鈴木校長の開會の辭[illegible]られたり來賓には久水府尹岩崎民長其[illegible]

●奬忠壇の實彈射擊 來る卅日午前十時より午後六時まで奬忠壇の陸軍練[illegible]十二名以實彈射擊演習を行ふ故に同地[illegible]

●工場建築狀況 今回豫算額約十五萬圓を以て建築に着手[illegible]工場の建築工事は着々進捗し[illegible]遲くも八月中には落成を見るに至るなるべし[illegible]長山崎技師[illegible]未だ決定せざるも多分現職二浦工場[illegible]浚渫工事を起したるが六月末竣工す[illegible]

……工事に就いて目下度支部に於いて……同工事に關する一切の設計中にて其後……しと云ふ浚渫船は既に平壤に到着し又同工事主……れば愈々近日中に浚渫工事に着手すべ……

●地久節と仁川高女　仁川高等女學校……られた。來賓には久水府尹岩崎民長其他商會議員等にて鈴木校長の開會の辭、生徒の談話、獨唱、手藝、習字、理化……

●獎忠壇の實彈射擊　來る卅日午前十時より午後六時まで獎忠壇の陸軍練兵場に於て警官練習所の巡査教習生白……

●京義線工場建築狀況　今回豫算約十五萬圓を以て建築に着手したる大同江鐵橋附近に於ける京義線……遲くも八月中には落成を見るに至るならんも第二浦工場に於ける機械を同所に移轉するに約一箇月の日數を要すべ……は未だ決定せざるも……

●平壤の水利事業　長山岐技師任命せらるべしと云ふ……京城にて……て浚渫工事を起したるが六月末竣工す……の由にて事業の收支は……地の收穫四分の一を徵收して灌水の需……要すべき筈也

多情多恨

京城藝妓の半生（廿）　清華亭の鈴奴（三）

藤田さんが豫審に回されたに就て勿論妾も證人と云ふんですか參考人と云ふのかで豫審判事の取調べを受けました、一寸斯う云つた調子で「藤田何某との關係は」「關係と申しますと……」「關係とは即ち關係だ、其の間柄を訊ねるのだよ」「ハ、間柄はお客樣と藝妓と丈けでムいます」「何回程聘ばれたか」「藤田さんが拘引されました夜ともに三回……」と云ひ掛けると「嘘を云ふな被告の陳述に依ると前とは普通の間柄ではないとの事だ眞直に有りの儘を申立てろ」と權柄づく「藤田さんが何んと申立てたに致しましても私は夫れより他は存じません」と突つ刎ねるとケロリとした顏付きで「だが前の處へ來た度毎に何程位宛費消したか」と訊問の事柄が他方へ飛ぶの而して其の面構……は少し醉ひのね……其の容子が癪に障る程落着いて居て夫れで時々大きな聲を出して叱り付ける如な事を云ふの、裁判官なんてものは皆んな彼樣なんでしようか……好かないワ……散々他を威喝かしたり賺したりした揚句が「モウ宜しい」ですとサ、當然だワ、夫れで妾熟々考へたの彼樣風では藤田さんが一層氣の毒だとね、併し藤田さんにも疑はれる理由が有つたと見へて遂々公判に回されたと判つたので或る辯護士に頼んだ着手金百圓に無罪となれば成功謝金二百圓を出す事の契約で、其の公判の結果は無罪と云ふ恰然狐に誑まれて居る如な始末なんです、後の二百圓は旦那に出して頂いたが前の百圓は妾の借金、女だてらの意地張りで詰らぬ夢を見て終つたの、此れに懲りて詰らぬ處に筋張るもんぢやないと思ひ乍らも性れ質つてものは詮術がない、フイとやつては何時でも後悔する斗りなの……エー見ゑを見ないから當てにはならないつて仰云るの、イヤよイヤよ調子に乘つたら又後悔だワ、話は元へ戻つて中村と云ふ立派な旦那があり乍ら何う氣が狂つたものか同じ神戸の元町で岡田と云ふ小間物商の若旦那に世話になる氣になつたの、浮氣ぢやないのよ彼れが乾度度が魅したと云ふのでしようよ……サア冷評さずに謹聽なさいよ……夫れと知つた中村の旦那は意地からでしよう落籍して實家へ歸して遣らうと云ひ出された、一方岡田の若旦那も落籍して遣ると此れも意地張り、サア左樣なつて見ると双方への義理から何方へも落籍される譯に行かなくなつて双方とも手を切つて六ヶ月餘り休業んで居る間、當家との相談が出來て昨年の五月皆樣に御厄介に罷り出た次第でして當地へ參つてからは御近所から美しいので何とか彼とか仰云つて下さるのは貴郎位のもの……アラ貴郎は直ぐ手をお出しになるのね、夫れがホンとに玉に疵ですよホ、、、……農商工部や大和町のは何うしたのだと、謝まります平に決して以來大きな口はたゝきませんから、ホントーに勘忍して下さい貴郎が飮ませた酒の上での事ですからね、貴郎にすれば自業自得と諦めてね、と他愛もない。次は引續いての

清華亭の金五郎

●隱れたる溫泉場

▽溫陽溫泉より遙に大なり

黃海道延安郡南門外に古來より鮮人の入浴しつゝありし溫泉場ありと云ふ然れども未だ嘗て世に知られざりしかど湯坪十三を有し內三坪は無限に沸出で殊に皮膚病には最も效ありとは同地鮮人等の一般に認め居る所なりと云ふを聞傳へたる福岡縣人稻葉常樾氏は過日實地調査をなしたる處全く鮮人の云ふ處と違はざるより同溫泉場の土地三千五百坪を所有者白川郡白川面張默文なる者より買收したれば稻葉氏は大々的設備を施し一大溫泉場となすの計畫をなし目下家屋の設計中なるが若し總ての設備完成の曉は溫陽溫泉より遙に有望ならんとの事なり而て溫泉場の位地は開州通路に衝り白川驛より二里仁川港よりは海上船舶の便を以て僅か一日にして達し得べければ夏季消暑を貪るに最も好適地ならんと云ふ殊に同地は土地肥沃にして米豆の產出多大なる地にて仁川とは最も密接なる關係を有するは已に人の知る處なり尙稻葉氏は溫泉場設備完成と同時に仁川延安間の航路を開始し乘客の目的を達すべしと云ふ

●不埒な淫奔女

仁川龍[illegible]洞に住む梅野いく（三五）と云ふは夫何某との間に子供二人まで擧けしにも係はらず持て生れし浮氣根性は邊り近所の人々に風船女の仇名を歌はるゝ程にて夫斗りでは迚も腑の虫が納まらぬ處から日本人は云ふに及ばず朝鮮人で御座れ支那人で御座れ男でさへあれば關係せし人の數が最早數へきれぬ程の淫奔女ね夫の手前も憚りなく巫山戲居るとは容赦のならぬ女と云ふべし

●築港祝賀と宮町

仁川築港起工式は愈々來月十一日と決定したるより各町內及組合等にては祝賀餘興に熱中し居り、事とて當日の賑はひはころ仁川開港以來未曾有の事なるべし中にも敷町一、二、三丁目は所謂宮町團と稱し一戶必ず一人以上餘興に加はる事とし花山車を出して市中を練廻る事に決したるが衣粧は浴衣手拭等の揃にて又軒提灯も揃に新調すべく已に準備に取掛れり

女振り（十五）　三池鶴代子

鶴代さんは產婆だ、熊本縣玉名郡橫島村生れである當年取つて三十四、當地產婆界で敏腕の一人として聞へて居る、長崎產婆學校の卒業生で最初の開業地は熊本縣菊池郡の隈府町であつた、と云ふのは鶴代さん學校卒業後間もなく緣付いたのが隈府町の某家であつた關係からである、而して配偶者が官吏であつたので其の轉任に伴ふて東京大坂臺灣と諸所經廻つたものだ、行く先々で產婆を開業して居た事は無論である、如何なる次第か子供を三人迄儲けた良人と離緣した、末子の千鶴子さんと云ふを引き取つて養育しつゝある、三十歲の時渡鮮して一時漢城病院に奉職せられて居たが間もなく獨立開業したのである、近頃は同志伊集院氏と共に產見院を創設して助產婦養成所を兼營して御座る、男勝りと云はれる丈けに面白からぬ批評の絕ねぬことは遺憾である、兎に角助產婦養成なる事業は一種の大なる慈善事業であるから記者は切に其の成效を祈るのである。

●三越と朝鮮名所

當地三越吳服店にては此度朝鮮名所風俗等を染出せし風呂敷、帛紗、手拭等を賣出せり圖柄染色ともに優美高尙にして渡鮮客の土產又は進物用として絕好のものたるべく價格又頗る低廉なりと

●米泥棒捕へらる

住所不定金允鉴（三六）は昨年十二月二十三日南大門內米市場に於て採相根所有の米一石五斗（代四十一圓）本年一月三日三石（代四十一圓）を竊取したる事西部署刑事に探知され目下取調中

大道の妖女

……なるが又小娘を唆かして金を卷揚るに妙を得て昨年の秋頃の事同地某料理店の酌婦某を唆かして支那人の妾に賣飛し私腹を肥し男に入揚けては痴話狂ていたる等の事實あるに又もや二三日前の事花町の料理店化け井の酌婦某が借金の都合から他に鞍替すべく口入屋の松田に依賴せしかば松田は早速諸方へ問合せたる處水原の菊水樓に交涉成立し已に金錢の受渡しすべき迄の運びに至り居りたるを前記いくが聞附け某を甘言を以て欺し一方を破約させ自分の手にて他に付替へさせ又もや上前を跳ねて……

哀れな女を救ひ玉へ（上）　○○內　みち子

近頃御社新聞平民文庫の欄にて妾い達の取締に就て皆さん方が議論をなさつていやはつても一人でも妾いたちの境遇に同情をよせてくだはるお方がないのはよく／＼あさましい身の上と思ひます妾い等酌婦の中でも浮氣ごくどうのは自身からすき好んでこの大泥水の中に沈んで面白可笑しく餓鬼さ狂戲廻つて浮た／＼で其日を送つて居るものはこれからさきどこの土地へ行ふが親方がかわろうがうんなことはすこしもとんちやくなしでたゞれ上の取締がきびしくなるにつけて妾いすかんな／＼などといつて居る位ですましてもいられようが妾いのような生れつき「レッテル」が二の町ときて（夫でもれまいに限るといつてくださる殿達もれまへすけれど）浮氣の出來る資格はたまへんさかい田舍で親達の傍に居てれ嫁入りの心待ぐらいだしたのがふとわるいにくたらしい男の口車にうかとのせられてふた親にもかくれて鳥も通わぬ玄海灘を越へて虎の伏すてうこの朝鮮へ連れて來られ京城埸末の安宿屋に五六日泊つて居るうちに其男がわるいたくみでいやたういわさずとふ／＼妾いを旭町の○○○へれ金で賣られて初めて來る客と……あゝわさましいなさけないことになつたと思ふと居ても起つてもたまらなく二親戀しさがこみあげて一日二日は御飯もたべず泣てばつかりいましたのをはうばいの酌婦になぐさめられまいさん斗りじやない妾いたちもみちこう違へやつぱ、だまされてこんな身の上になつたのでもう此處へはいつたからにや地獄へ落ちたも同じこと生きて出られる氣遣ひがないから身を捨てたゞあきらめて辛棒して時節をまちいゝお馴染の客でも出來たらひかせて貰つて足を洗ふよりほかに思案はないからとしんせつにいたわりなぐさめられてやつと心もれちつきあらくしたらもうどりかへしがつかぬさいとあきらめてはいるものゝ初めのうちはれ客の前へ出るつらさ心で泣ても笑顏して金ゆへ任せる身にしあればれめ／＼と枕をすゝめつゝ五日とたち十日とすごし思へば丁度滿一年馴れぬとはいへ髮の結ようも仇めけば化粧のしかたもなまめいて國を出る時のれもかげとは鳥も鷺と我身ながらも見違へる程變りはしたもののどんなにれ怨みがあろふかと思ひ出すと國で學校の先生からきいた「父母います時は遠く遊ばず」とは「身體はつふこれを父母に享け敢てきしようせざるを孝のはじめとす」とかみな妾いの犯した不孝の罪かろら恐ろしく一日も早く苦界を逃れ御兩親いろばへかへりてれ詫せんと神樣や佛さんへ朝夕心でがんかけて待くらして居ります。

▲平民文庫▼

▲實見生に申す、斯く申す久兵衛決して醜業者なるものゝ肩を持つと云ふではない私の申す趣旨はれ互ひの宅には神棚があると同時に便所がある、汚穢いとのみ思ふて之れを取り除けたら困る玆に於て可成汚穢くない如な設備及び改良を加ふるに止めるの已むなき次第となる、私の云ふ意味は夫れだ、と申すと君は斯う云はれるかも知れぬ「京城には現在新、中、桃の三ヶ所がある、悉くを撤廢するのではない」と御說御尤であるが龍山をも包容したる京城と云ふ大家の夫れにしては其の便所の廊下が長過ぎる憾がある、辻便所を撤廢した以上は秘密に溝渠にショグルものゝ出來るのは當然である、辻便所は廢した溝渠の近邊や橫町やの監視は嚴にするとなると勢ひ他人の家の便所を借りに入ることとなる、何事も嚴重は可なるも峻酷は不可だと云ふに止まる、豈に敢て賣春婦を市中に散在せしめよと云はんやです（久兵衛）▲みちへた投書は別項に（係）▲大桝星の力彌は當月限りで廢業するとの由而して永樂町の電話一五八九番にて雜貨商をするとのことにて此の頃は大滿足目出度しし／＼（可數生）▲晝夜何れにても宜しく一時間でも宜しく候間刑法の手解き爲し下さるゝ方樣本欄にて御住所お示し下され度願上候（習度生）▲私儀朝鮮語敎授に與り度書付何れにても參上仕るべく候間各個に御敎へ下さるれ方樣何卒本欄にて御住所お知らせ下され度候（新來生）▲人の眞情も知らずに中傷する人もあれば人を誤解して徒らに煩悶する人もあるが之れ等の人に對しては只「色をも香をも知る人ぞ知る」と云つてるより外はないですか（多寄生）▲夫れが宜しいですよ（小僧）